



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
 〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8
 E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp
 URL http://www.kks-support.sakura.ne.jp/



新年、明けましておめでとうございます



「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良さを表しているといえそうです。今年は、サポ



ートセンター20周年記念式典・祝賀会が2月10日に行われます。20年の成長を祝うとともに、より大きく発展する礎を築いていく年となります。皆様のご協力とご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。

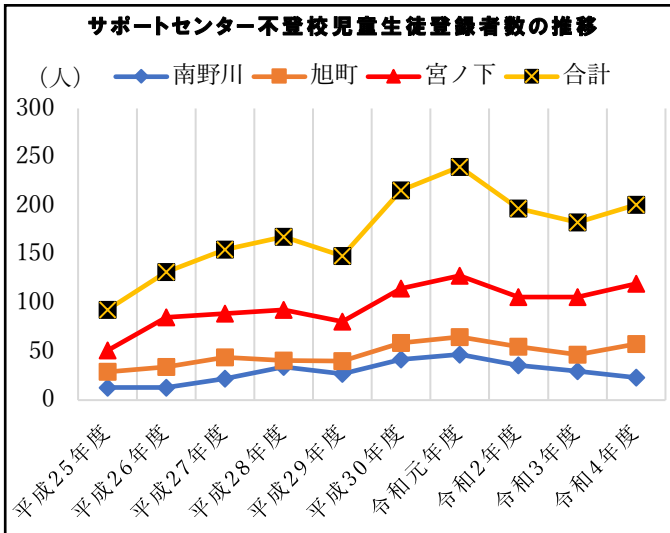
子どもサポート旭町～市長視察～

11月30日(木)福田川崎市長、伊藤副市長が「子どもサポート旭町」を視察してくださいました。川崎市では、今年度中に「川崎市の不登校対策」をまとめて発表するそうです。そこで、市長や副市長が議会の合間に、学校やゆうゆう広場を見学したり、民間NPOが運営する施設を視察したりしています。



この日、市長には、サポートセンターが川崎市の不登校児童生徒の10%弱を受け入れることや「居場所」に力を入れている施設、個別の学習に取り組んでいる施設など、それぞれ内容が異なる3つの「子どもサポート」を運営していることをお伝えしました。

川崎市が不登校の子どもたちの課題に真剣に考え、どのような不登校の子どもたちの支援策を打ち出すのか、楽しみにしています。



子どもの権利学習講師派遣事業

今年度、教育活動総合サポートセンターの新しい事業として、教育委員会多文化共生教育担当からの依頼を受け、多摩区の小学校2校で「子どもの権利学習派遣事業」が施行されています。11月18日、27日に三田小学校の5年生、6年生で実施されました。令和6年の1月に生田小学校の3年生で実施する予定です。



三田小学校では、GIGA 端末や新しくなった大型テレビを駆使して、子どもの権利について、個人の学びと協働の学びが両立するような学習展開ができました。不登校の子どもたちや障がいのある子どもたち、外国人の子どもたちを交えて「子どもの権利」について学び合うことができました。来年度から、全市で実施する予定です。2校の学習を終え、来年度の本格実施に向けて内容を検討していきたいと考えています。



この1冊の本コンクール第1次審査

サポートセンターでは、今年も、東京応化科学財団からの委託を受け「この1冊の本コンクール」の審査員を務めてまいりました。

今回は、14名の所員の皆様のご協力をいただき、11月21日（火）、24日（金）、28日（火）の3日間にわたり、第1次審査の仕事をしてきました。今年は、作文が932点、本の帯が793点、POPが2218点、合計4059点の応募がありました。サポートセンターは、国語教育研究会、理科教育研究会、情報教育研究会、美術科や図画工作科研究会にいた方等、人材が豊富なのでこのような審査員の仕事にはうってつけの組織です。来年度以降も、サポートセンターに委託したいとの連絡が入っています。来年度からは、一事業として年間計画に入れていきたいと思えます。なお、コンクールの授賞式は2月に行われる予定です。



文化講演会

12月9日（土）川崎市教育会館でサポートセンターが主管する文化講演会が開催されました。今年度の講師は、日本地名研究所事務局長・川崎地名研究会会長の菊地恒雄先生でした。

今回は、川崎市制100周年を意識して「未来に生きる川崎の地名」という演題で講演をお願いいたしました。今回、たくさんの一般市民の方も参加していただき、105名という参加者でした。アンケートによると100%の方が「とても良かった」「良かった」と回答を寄せていただきました。感想の一部も紹介させていただきます。



- ・自分が住んでいる川崎の地名には、様々な意味が込められていることを知ることができて、より一層、川崎に対する理解が深まりました。
- ・渡田に住んでいます。渡田小は渡田になく、田島小が田島町にないのは不思議だなと思っていましたが、住居表示法の初期に「渡田」で試行されたからだとなり、納得しました。
- ・自分が住んでいる地区の話も出てきましたが、知らないことばかりで驚きました。確かに高台なので、とても納得して聞くことができました。川崎市に住む人にはとても刺さる内容だったと思います。
- ・川崎の教員を目指しているため、子どもたちが自分の住んでいる地域について考える機会を与えるためにも、私自身がもっと川崎市について知識を豊富にしておくべきだと改めて思ったし、関心も高まりました。
- ・勤務地の近くの地名の意味を知ることができたので、学校で子どもたちに教えたいと思いました。
- ・川崎市が来年100周年ということを知り、川崎に23年も住んでいて知らなかったのが、知ることができて良かったです。川崎への関心が高まりました。



1月の行事予定

1	月	元旦 宮ノ下・旭町・南野川年始休業
2	火	
3	水	
4	木	(学校閉庁日) 宮ノ下事業開始
5	金	事務局打合せ⑩、学習支援幸・日吉教室、南野川事業開始
6	土	
7	日	
8	月	(成人の日)
9	火	学習支援川崎教室、旭町事業開始
10	水	研究部会⑩、日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
11	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
12	金	事務局会 13時、役員会 15時、学習支援幸・日吉教室
13	土	サイエンスキッズ①、日本語支援幸町教室
14	日	サイエンスキッズ②
15	月	学習相談部会⑨
16	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
17	水	日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
18	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
19	金	学習支援幸・日吉教室
20	土	支援を必要とする子の保護者の会(全市②)、サイエンスキッズ③、寺子屋さぎぬま体験活動
21	日	サイエンスキッズ④
22	月	会計担当者会③
23	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
24	水	日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
25	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
26	金	学習支援幸・日吉教室
27	土	サイエンスキッズ⑤、日本語支援幸町教室
28	日	サイエンスキッズ⑥
29	月	事務局打合せ⑪
30	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
31	水	研究部会⑪、日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室